

地方都市視察報告書

自治・地方分権特別委員会

1 実施日 平成26年10月23日（木）

2 視察地 香川県高松市

【市の概要】

(1) 面積 375.20km²

(2) 人口・世帯数（平成26年10月1日現在）

○人口 420,758人

○世帯数 181,459世帯

(3) 高松は、天正の時代から城下町として栄えた後、香川県の県庁所在地となり、明治23年2月15日に市制をしき、全国40番目の市としてスタートした。

これまで大正、昭和、平成を通じ、8回にわたる合併で、北は瀬戸内海から南は徳島県境に至る、海・山・川など恵まれた自然を有する広範な市域の中に、にぎわいのある都心やのどかな田園など、都市機能・水・緑が程よく調和し、豊かな生活空間を有する都市となっている。

恵まれた風土と地理的優位性を生かし、四国の中枢管理都市として発展してきたが、特に昭和63年の瀬戸大橋開通や平成元年の新高松空港開港、平成4年の四国横断自動車道の高松への延伸などにより高松市を取り巻く環境が大きく変化する中、平成11年4月、中核市に移行した。

「文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松」を目指して、それぞれの地域の特徴をいかした、都市的利便性と自然的環境が享受できる都市の実現に向け、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めている。

3 視察項目・内容

地域コミュニティ協議会の活動について

4 視察参加者

【委員】

のづたけし委員長

鈴木ひろみ委員

佐藤佳一委員

豊島あつし委員

野もとあきとし委員

池田だいすけ委員

ひやま真一委員

平間しのぶ委員

阿部早苗委員

鈴木ゆきえ委員

深沢としさだ委員

【随員】

議会事務局議事係

濱野智子

氏家あふゆ

5 視察結果・所感

少子・高齢化が進む中であって、どのように地域社会を活性化していくか、またそのためにはどのような地域自治組織が必要かという観点から、香川県高松市にある「地域コミュニティ協議会」の視察を行った。

高松市は人口40万ほどで、ここでも都市化により町会加入率の低下など、新宿区と同様の課題を抱えている自治体で、そこでどのような地域自治についての取り組みが行われているのかを調査する視察だった。

新宿区における地区協議会の成り立ちとは異なり、従来からの自治体連合会が核となって、小学校区ごとに独自の地域自治組織として、地域コミュニティ協議会が発展してきた経緯について説明を受けた。

また、市から地域コミュニティ協議会に配分される予算の活用方法や、地域のニーズをくみ取った様々な企画運営などについても報告を受けた。

新宿区と違って、市職員の市内在住率が9割を超えているという事情もあり、行政と市民が一体となって展開される、新しいコミュニティ作りのあり方についても、とても学ぶべきことがあった。

6 主な質疑項目

- (1) 地域コミュニティ協議会の規模の適正化、見直しについて
- (2) 地域コミュニティ協議会を当初組織する際の町会等の反応について
- (3) 地域別の自治会加入率及び地域コミュニティ協議会の規模の違いについて
- (4) 自治会を中心とした場合のNPOなどとの関わりについて
- (5) 地域コミュニティ支援策（市職員の関与）について
- (6) 地域コミュニティ協議会に交付される地域まちづくり交付金について

7 その他

【共同視察者】

企画政策課長 平井光雄

生涯学習コミュニティ課長 山本秀樹

